

鹿児島県立短期大学の教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

〈文学科〉

日本語日本文学専攻

日本語日本文学専攻のカリキュラムは、専門基礎科目、日本語学科目、日本文学「古典」科目、日本文学「近代」科目、地域文学・中国文学科目、卒業研究で構成されます。

1 専門基礎科目

大学の教育カリキュラムにスムーズに移行するためのリテラシー教育、専門分野を学ぶために必要な基礎的能力と知識の習得を行います。

2 日本語学科目

日本語学、言語学、日本語教育学、日本語表現について、基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、日本語、及び、言語について、専門的知識や思考力を養うとともに、言語によって事実を正確に示して的確に意見を伝える表現力を養います。

3 日本文学「古典」科目

日本の古典文学について、文献講読を重視して基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、日本文学の知識を得ると共に、作品を精読して「読む」能力を向上させ、文学的感性を養い、発表と討議を通して読解力、表現力を向上させます。

4 日本文学「近代」科目

近世、近代から現代の日本文学について、文献講読を重視して基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、日本文学の知識を得ると共に、作品を精読して「読む」能力を向上させ、文学的感性を養い、発表と討議を通して読解力、表現力を向上させます。

5 地域文学・中国文学科目

鹿児島の地域文学を学ぶ科目、及び、中国文学について基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、地域文学・文化、中国の文学・文化・歴史を多角的な視野で学ぶことで、異文化理解を促す柔軟な思考力を養います。

6 卒業研究

各自が設定するテーマについて専門領域の教員の指導のもと、短期大学の学修の集大成として卒業研究を作成し、学生自らが課題を探求し、その解決に向けて必要な情報を収集・整理して論理的に結論を導き出すことを目標とし、総合的な課題探求・解決能力を培います。

英語英文学専攻

英語英文学専攻のカリキュラムは、専門基礎科目、コミュニケーション科目、英語学科目、英米文学科目、比較文化科目、卒業研究で構成されます。

1 専門基礎科目

大学で必要な学習技術として、自らの意見を論理的にまとめられる思考力と的確な表現力を少人数で実践的に指導します。

2 コミュニケーション科目

コミュニケーションの理論と実践について体系的に習得することをねらいとした科目を配置し、専門的知識や思考力、判断力を養うとともに、「読む・書く・聞く・話す」の4技能のバランスがとれた実践的な英語コミュニケーション力を総合的に向上させます。

3 英語学科目

英語学の諸分野について基礎的な知識を体系的に習得させる科目を配置し、英語という言語を分析する力を養うことをとおして英語に対する理解を深め、より正確な英語コミュニケーションができるようになるための素地を作ります。

4 英米文学科目

英米文学の背景と作品を学んで基礎的な知識を習得させる科目を配置し、作品の精読と速読をとおして「読む」能力を向上させ、同時に作品に潜む問題点を考えさせて自らの意見を発信させる思考力を培います。

5 比較文化科目

英語圏の文化・文学・歴史を多角的な視野で学ぶ科目を配置し、異文化理解を促す柔軟な思考力を養います。比較文化学的視点から社会を読み解く方法を習得させることで、多様な文化の中にいる自己を認識し、地域の問題をグローバルな視点で理解できる国際人としての素養を育みます。

6 卒業研究

各自が設定するテーマについて専門領域の教員の指導のもと、短期大学の学修の集大成として卒業研究を作成し、情報収集や分析手法、問題提起、論理構築、課題探求力などの総合的なアカデミックスキルを培います。

<生活科学科>

食物栄養専攻

食物栄養専攻のカリキュラムは、栄養士としての基礎的知識を身につけ、実践力の修得を目指すために、学科共通科目、専門科目（基礎科目・応用科目）に関する科目群で構成されています。

1 学科共通科目

生活科学科では、社会生活を送る上で必要となる豊かな人間性と幅広い知識を身につけ、更に専門分野の修学に応用できるように科目を配置しています。

学科共通科目では、人間、生活、文化、社会との関連性を重視するとともに、健康で豊かな人生を創造でき、心身の健康を養い、情報化の進展に対応した教育を行います。

2 専攻専門科目

専攻専門科目は、栄養士の免許を取得するために必要な科目で構成されており、内容によって基礎科目と応用科目にわけています。

基礎科目では、社会生活と健康、人体の構造と機能、食品の化学的性質、栄養素の消化吸収・代謝など栄養学の基礎、調理学を学び、栄養士に不可欠な知識・理論を身につけます。

応用科目では、ライフステージや病態に沿った栄養学、栄養の指導、特定給食施設の管理・運営などの講義や実習を通して、栄養士業務に関わる知識と技術について学びます。

また、実習・実験では、学んだ知識を活かして、問題解決力と実践力を養います。

生活科学専攻

生活科学専攻では、生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得、さらに柔軟な思考力やデザイン力の獲得をめざして、カリキュラムを学科共通科目と四系列からなる専攻専門科目（専門基礎系、ライフデザイン系、ビジュアル・ファッションデザイン系、建築デザイン系）で構成しています。

専攻専門科目は四系列とも講義や実習、演習を通じ、実践的な少人数教育により、主体的に取り組む力を伸ばします。また、専門基礎系以外の三系列ではゼミ形式で行う「卒業研究」を開設しています。志望する分野や課題を選択して研究を進め、2年間の専門教育を完成させます。

1 学科共通科目

生活科学科では、社会生活を送る上で必要となる豊かな人間性と幅広い知識を身につけ、更に専門分野の修学に応用できるように科目を配置しています。

学科共通科目では、人間、生活、文化、社会との関連性を重視するとともに、健康で豊かな人生を創造でき、心身の健康を養い、情報化の進展に対応した教育を行います。

2 専攻専門科目－専門基礎系

ライフデザイン系、ビジュアル・ファッションデザイン系、建築デザイン系の科目の修得につながる基礎的な科目を配置しています。生活科学専攻の教育目標や体系を理解し、どの系列を主に修学したいかを意識しながら、系列やゼミ（卒業研究）選択の準備をします。

3 専攻専門科目－ライフデザイン系

生活や人間関係、それを取り巻く環境や文化、経済、福祉などについて総合的な理解につながる科目を配置しています。生活の中のさまざまな事象を科学的に理解、分析することやそのために必要な基礎的知識の習得を行います。

4 専攻専門科目－ビジュアル・ファッションデザイン系

ビジュアルデザインやファッションに関する科目を配置しています。デザインの基礎を学ぶ科目から複雑なソフトウェアなどを使用して課題作成に取り組む応用科目まであり、深い専門教育が受けられ、資格やキャリアにつながるスキルを身につけられます。さらに、さまざまな課題解決につながる感性やセンス、デザイン力を養います。

5 専攻専門科目－建築デザイン系

住居や商業施設などのインテリア、エクステリアといった空間デザインに関する科目を配置しています。住居などの歴史や設計・製図の技法、将来の望ましい住環境のあり方までを考え、学ぶことができます。また、二級建築士や木造建築士、インテリアプランナーの受験に必要な知識と技術も基礎から応用まで習得します。

<商経学科>

1. 専門基礎科目

商経学科では、経済専攻、経営情報専攻、第二部商経学科において共通とし、特に経済学と経営学を学ぶ上で必須となる基礎科目を学ぶことを目的としています。また、現代社会に必須の能力である

情報系科目の基礎についても学びます。こうした基礎科目を学ぶことにより、さまざまな専門分野へ進んでいける力を養います。そのために、(1) 基礎理論、(2) 情報基礎の2つの系列を設けています。

2. 専門科目

経済専攻

身近な生活を地域社会やグローバル社会と結びつけて考える力を養うことを目的としています。そのためには、社会科学のいくつかの分野の理論を中心に据え、国際社会についての理解を深めつつ、地域社会の課題解決に寄与するための方策を学べるように3つの系列に分かれています。それらは、(1) 経済理論、(2) 国際環境、(3) 地域政策です。これらの系列から横断的に履修することが可能になっています。

また演習科目では、少人数による実践的指導を行います。1年後期の演習 I、2年前期の演習 II では、自分が選択した教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを培います。2年後期の卒業研究では、履修の集大成として、各自が選択したテーマにもとづいて、卒業論文を執筆します。

経営情報専攻

地域のビジネスを広く支える人材の育成をめざすことを目的としています。経営の知識と IT や会計の技能を駆使して、企画、管理、運営をおこなう意欲と能力をもち地域社会に貢献できるようにするために、経営や会計に関する理論を中心に据え、さまざまな情報を分析し、情報を活用する方策を学べるように3つの系列に分かれています。それらは、(1) 経営理論、(2) 情報分析、(3) 情報活用です。これらの系列から横断的に履修することが可能になっています。

また演習科目では、少人数による実践的指導を行います。1年後期の演習 I、2年前期の演習 II では、自分が選択した教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを培います。2年後期の卒業研究では、履修の集大成として、各自が選択したテーマにもとづいて、卒業論文を執筆します。

第二部商経学科

第二部商経学科では、多様な学生の要望に応えるために、経済専攻および経営情報専攻よりも幅広いカリキュラムが用意されています。経済学、経営学、会計学に関する理論を中心に据え、地域社会と国際社会についての理解を深め、情報を分析し、そして活用できるように4つの系列が用意されています。それらは、(1) 経済理論、(2) 地域と国際、(3) 経営理論、(4) 情報分析・活用です。これらの系列から横断的に履修することが可能になっています。こうした幅広い科目を準備することで、社会人学生の幅広いニーズにも応えられるようにしています。

また演習科目では、少人数による実践的指導を行います。2年後期の演習 I、3年前期の演習 II では、自分が選択した教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを培います。3年後期の卒業研究では、履修の集大成として、各自が選択したテーマにもとづいて、卒業論文を執筆します。

〈教養科目〉

教養科目は、各学科の学芸の基礎となるよう、第二部を含めた三学科共通で構成し、以下のような目的・目標に向けてカリキュラムづくりを行う。

- ① 人文，社会，自然の事象を明確に認識する。
- ② 地域における文化と世界の多様な文化との相互理解（グローバルとローカル性）を促進する。
- ③ ICTを含めた高いコミュニケーション・スキルを修得する。
- ④学際的な科目の学習を通して、現代の諸問題の課題探求，問題解決能力の向上に資する。
- ⑤外国語の運用能力を強化する。
- ⑥スポーツに親しむことを通して、生涯にわたる健康維持と体力づくりに関心を持つ。

〈教職科目〉

文学科日本語日本文学専攻にあつては、中学校教諭（国語・二種）の、文学科英語英文学専攻にあつては、中学校教諭（英語・二種）の、生活科学科食物栄養専攻にあつては、栄養教諭(二種)の、生活科学科生活科学専攻にあつては、中学校教諭（家庭・二種）の、それぞれ普通教育職員免許状を授与するにふさわしい教職課程の編成を行う。また、学校図書館司書教諭規程にふさわしい科目を配置する。

教育職員免許法の定めるところにしたがい、教職に関する科目並びに教科に関する科目を配置する。